

岐阜高専で実習機械の安全診断を実施

岐阜高専では12月18日、実習中の実習機械による事故を防止し、教職員や学生の安全を守る取組の一環として、外部機関による安全診断を実施した。

当日は、中央労働災害防止協会から派遣された指導員により、学校内全体の管理体制や機械設備及び環境について、テクノセンター及び各学科長に対するヒアリングが行われ、その後同校の安全衛生委員会メンバーとともに現場点検を行った。現場点検では各施設の責任者立会いのもと、法令に基づいた管理体制や安全管理に関する施設内の表示、5S（整理、整頓、清掃、清潔、しつけ）の励行、問題点の指摘など細部にわたり指導が行われた。

同校はこの診断結果に基づき、労働災害や学生の事故の防止、安全衛生管理の更なる徹底に努めることとしている。



中央労働災害防止協会派遣の指導員から指導を受ける同校職員